

**区分** **A 中小都市、過疎地など** (人口10万人未満の自治体) **空間的空白の解消** **他分野による交通事業の活用** **商業・農業** ×交通 **子ども・子育て** ×交通 **医療・介護・福祉** ×交通

### 対象地域

- 地域：山梨県甲斐市
- 人口：75,313人
- 世帯数：31,039世帯
- 高齢化率：26.3%
- 面積：71.95km<sup>2</sup>

### 背景・お困りごと

- **自家用車依存率が高く、市民バス利用率の低迷の影響から運行経費の赤字分が年々増加傾向にあった**
- 市民バスについてはルートや時刻等の見直しが検討されてきたが、**他の交通手段への乗換が不便であった**
- 採算性を考慮した**公共交通スキームの確立**や、公共交通全体の利用促進等による**持続可能な公共交通の確立**が課題

### 実施内容

AIオンデマンド交通と既存公共交通の連携と既存集客施設を活用した**モビリティハブ**の整備による地域公共交通ネットワークを再構築

### 概要

- モード：AIオンデマンド交通 (道路運送法第21条許可)
- 予約方法：アプリ、電話
- 料金：  
エリア内：6-18歳 300円、19歳～ 400円  
エリア間：6-18歳 400円、19歳～ 600円
- ※キャッシュレス決済利用者、免許返納者障がい者割引有



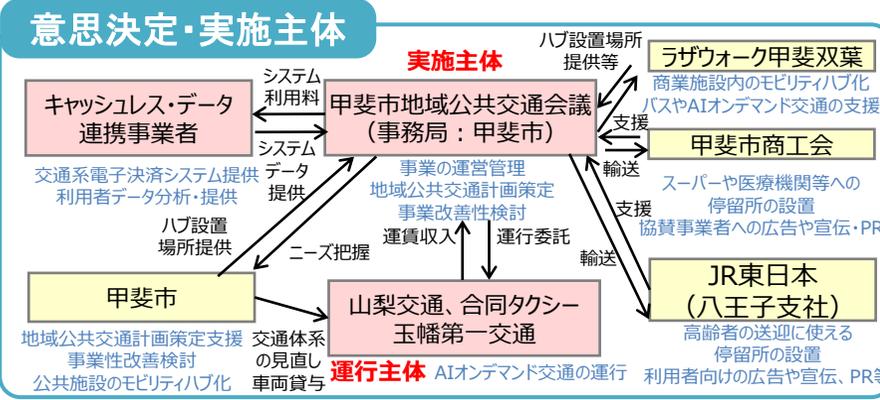
### 重要ポイント

- 全ての人を対象に**EV3台とHV2台**を活用した**フルデマンド型AIオンデマンド交通**の実証運行を市内全域で実施
- **既存集客施設を活用したモビリティハブ**を市内3か所で展開した
- 過去の実証運行データを収集・分析し、**実証運行の意義と施設にもたらず効果を提示**することで、定量的なメリットを訴えた
- 令和5年度は利用者負担無償での実証実験としていたが、今年度は**利用者負担有償**とし、支払の手間を簡略化するために、**キャッシュレスでの取組み**も追加した

### 今後の事業展開

<今後の事業展開時の運行における根拠法令(予定)：道路運送法第4条許可>

- 地域公共交通計画の策定と計画に基づく事業の実施(AIオンデマンド交通・モビリティハブ・スポンサー事業の実装)
- 運行エリアや車両台数の適正化及びAIオンデマンド交通システム、コールセンター等の見直しによる事業性改善



### 運行実績・成果

- 運行期間：2024/11/1～2024/12/22
- 利用者数：1,322名 (1,191運行)
- 平均乗合人数：25.4人/1日

収入	<b>685,350円</b> (内訳 運賃収入:346,350円、スポンサー収入:339,000円)
支出	<b>23,758,625円</b> (車両購入費、車両改造費、マップ作成費、モビリティハブ整備費、バスロケーション導入費、デジタルサイネージ導入費)
ランニングコスト	<b>40,062,790円</b> (コンサル経費、AIオンデマンド交通システム料、コールセンター経費、運行経費、キャッシュレス決済システム料)
損益	<b>▲63,136,065円</b> ※ (共創・MaaS実証プロジェクトを活用)

### 成果

- AIオンデマンド交通の導入により「今よりも外出すると思う」と6割程度が回答していたことから、**外出促進効果がある**と考えられる
- モビリティハブの有無による平均滞在時間の差は小さいが、分布をみると**20～30分の滞在が増加傾向**にあり、乗換利便性が向上し**短時間の利用が容易になった**ためと考えられる